



平成14年5月22日  
中国電力株式会社

[経営課題への取り組み状況 \(PDF:338KB\)](#)

平成14年5月

---

注 このPDFファイルをご覧になるには Acrobat Reader4.0以上が必要です。





## 経営課題への取り組み状況

クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され選択されるために

**ToYou ForYou WithYou**



平成14年 5月

中国電力株式会社

平素は当社事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。お客さま・地域のみなさまのおかげをもちまして昨年5月、当社は創立50周年を迎えることができました。

本冊子では、当社の経営課題への取り組みについて平成13年度の実施状況を中心に取りまとめています。ご高覧いただき、当社の業務運営についてより一層のご理解を深めていただきますとともに、ご意見・ご感想等をいただければ幸いに存じます。

## 目 次

### ．平成13年度の実施状況

1．競争力の強化とお客さまニーズへの対応	
（1）経営効率化への取組み	2
（2）お客さまサービスの充実と多様化	7
2．安定供給への取り組み	10
3．環境・エネルギー問題への対応	
（1）地球環境問題への対応	11
（2）省エネルギー	12
（3）省資源・リサイクル	12
（4）新エネルギーの普及促進	13
（5）環境マネジメントシステムの展開	14
4．組織見直しと新規事業展開	
（1）全社組織の見直し	15
（2）新規事業展開	16

### ．業績の動向

1．収支実績	17
2．電気料金の動向	18
3．平成14年度の収支見通し	19
4．経営目標の見直し	20

**参考資料**

- ・データでみる中国電力の概要
- ・決算関連データ
- ・中国電力グループ

## 平成13年度の実施状況

当社は、低廉で安定した電気とお客さまにご満足いただけるサービスを提供するため、平成13年度においても供給計画・経営効率化計画に基づく様々な取り組みを実施しました。

### クリエートチェンジ21

お客さまに信頼され、選択されるために

To You : 電気の価値を高めて情報発信し、お客さまに選択していただきます

For You : 選んでいただいたお客さまに感謝の気持ちを持ってサービスの向上を図り信頼を得ます

With You : お客さまとのふれあいを大切にし、お客さまに学び、お客さまとともに成長していきます

#### 【参 考】

平成13年度供給計画基本方針

1. 価格競争力の強化とお客さまニーズへの対応
  - (1) 更なるコスト低減
  - (2) お客さまの信頼獲得を目指した営業活動の強化
2. 安定した電源・電力輸送設備の形成と運用
3. 環境・エネルギー対策への取組みと原子力発電の開発推進

平成13年度経営効率化計画

1. 設備投資額  
平成13～15年度の3カ年平均で1,500億円程度以下とします。
2. 修繕費  
設備診断技術の高度化による点検・補修周期の延伸等によって、抑制を図ります。
3. 業務運営諸経費  
費用対効果を踏まえたコスト管理の更なる徹底により、抑制に努めます。

毎年3月に今後10年間の需要見通しと発電所の建設計画などを取りまとめた「供給計画」を経済産業省に届出し、それに基づく今後3年間の効率化への取組みについて「経営効率化への取組み（経営効率化計画）」として公表しています。

## 1. 競争力の強化とお客さまニーズへの対応

### (1) 経営効率化への取り組み

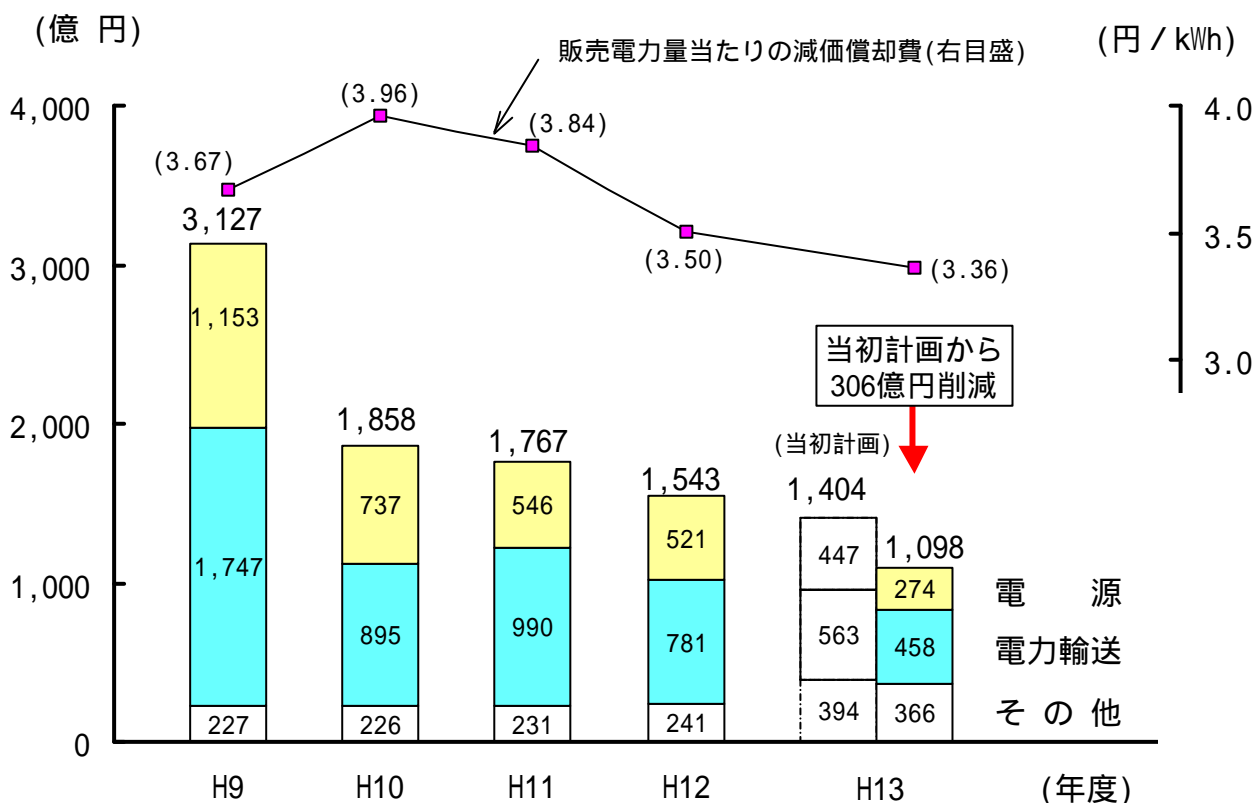
「平成13年度経営効率化計画」にもとづき効率化に取り組み、実施段階で新たな効率化施策を追加するなど、計画以上の実績を上げました。今後も更なる効率化努力により、料金コストの低減に努めてまいります。

減価償却費等設備関係費用を低減するため、設備投資を抑制しました

新技術の導入による機器の設計・施工方法の見直しや、請負・資機材調達コストの低減などにより設備投資額を抑制し、減価償却費の低減に努めました。

平成13年度の設備投資額は、ここ5年間で最も低い水準となりました。

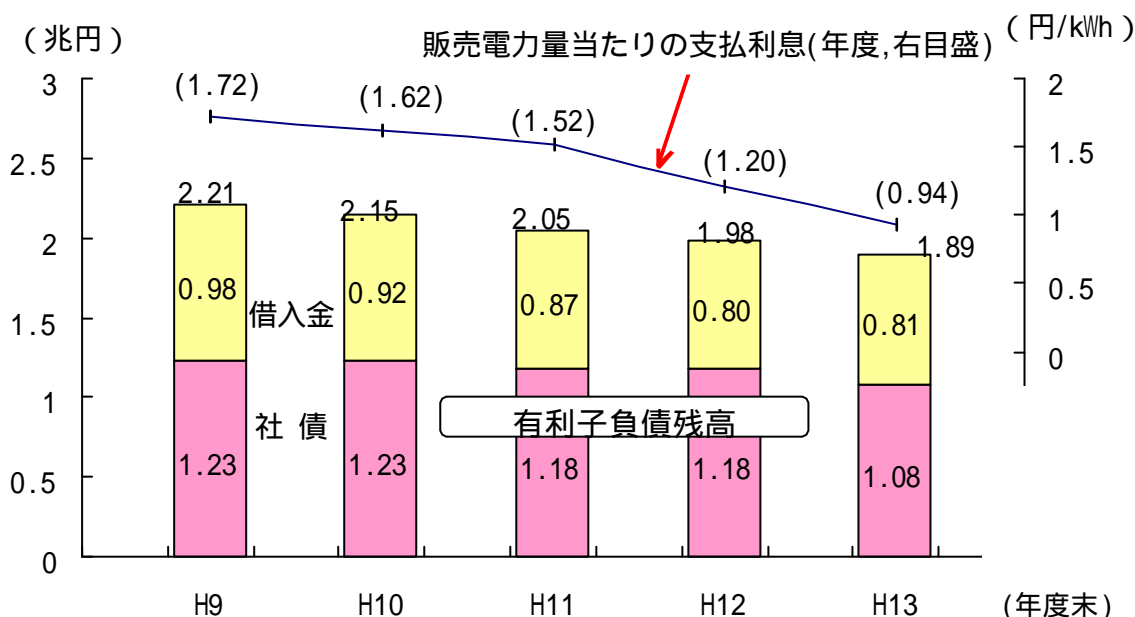
設備投資額の推移



投資の抑制で得られた資金は、借入金の返済など財務体質の強化に優先的に充当しており、金利負担の低減に努めました。

平成13年度末の有利子負債残高は1兆8千9百億円となり、販売電力量当たりの支払利息は1円を切る水準となりました。

有利子負債残高・支払利息の推移



・配電設備配置計画支援システムの開発

配電システムを構成している膨大な設備について、最適な配置箇所や撤去候補の選定を精度よく効率的に行うためのシステムです。これにより、年間5千万円程度の設備投資抑制が図れる見込みです。

・石炭灰を活用した吹付け工法の開発

トンネルや法面工事に使用する吹付けコンクリートに使用するセメントと砂の一部に替えて、石炭灰を活用する技術で、長期的に強固な品質となるほか、吹付け時のコンクリートの跳ね返り量を大幅に減少させるなどコスト低減を図ることが出来ます。

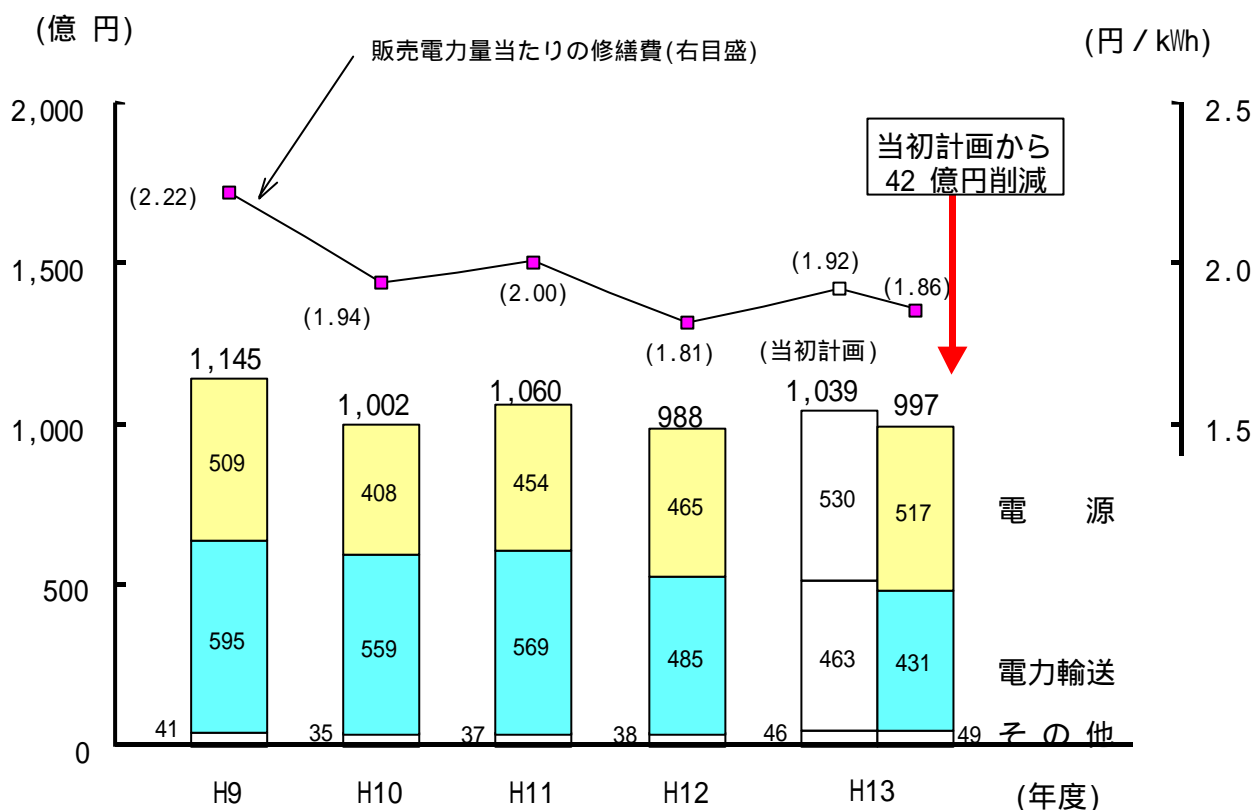
トンネルなどの地山にコンクリートを吹付ける際、付着せずに跳ね返ってくるコンクリートの量で材料ロスとなる。

点検・補修の合理化などにより、修繕費を抑制しました

火力発電所大型補修工事などによる増加があったものの、自社開発した設備診断技術を活用し、点検・補修周期の最適化を図るとともに、請負・資機材調達コストの低減などにより、修繕費を抑制しました。

平成13年度の修繕費は、実施段階での効率化等により、当初計画から42億円削減し、ほぼ前年並の水準としました。

修繕費の推移



・新型の高性能セラミックスコーティング装置の開発

本装置を使用して、火力発電所配管をセラミックスコーティングすることにより、部品の長寿命化による補修コストの低減が図れます。また、コーティング材料の付着率が約20%向上しているため、従来の8割程度のコストでコーティングが可能となります。

・下松発電所2号機の長期計画停止

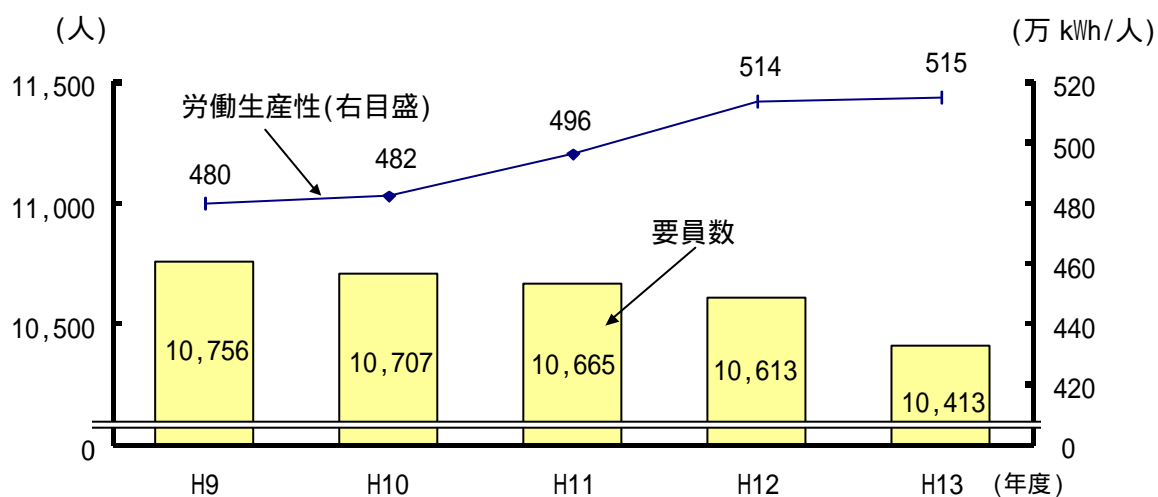
安定供給の確保を前提として、火力発電所の中から下松2号機を計画停止することにより、修繕費などの運転維持費用の削減を図りました。

業務運営の効率化に努めました

業務運営の全般にわたる効率化，簡素化の推進により，要員の効率化を推進し，生産性を向上させています。

平成13年度は，前年と比較して200人の要員を削減し，販売電力量が減少したにも拘わらず労働生産性（一人当たりの販売電力量）を向上させました。

要員数の推移（1月末）



新規採用者数の推移

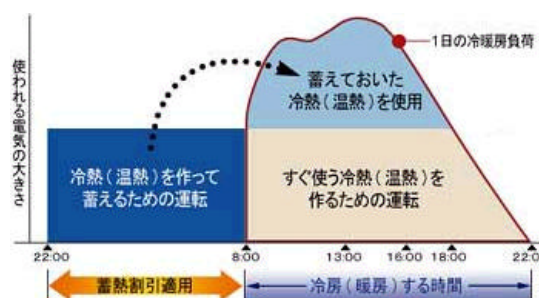
	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5
新規採用者数 (人)	248	211	211	218	150	139	(予定) 110

負荷平準化に積極的に取り組んでいます

電気の使われ方は、昼夜、季節などにより大きな格差があります。この需要格差を縮めて、設備の稼働率を向上させることでコスト削減が図れることから、夜間電力を利用する電気温水器や、蓄熱式空調システム（エコ・アイス）などの普及拡大に力を入れています。

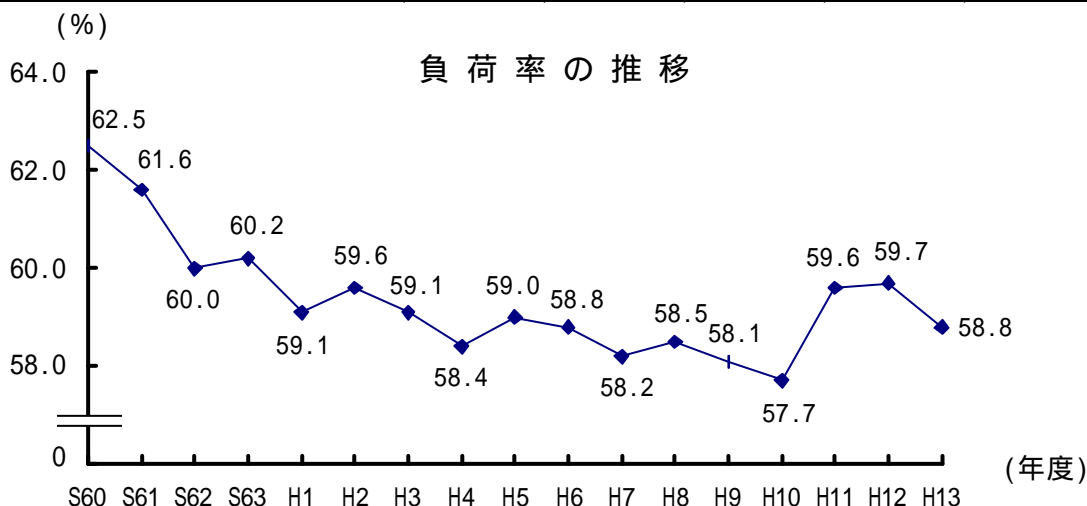
蓄熱式空調システム（エコ・アイス）について

安い夜間電力で熱源機を運転して、夏は冷水(氷)、冬は温水を蓄熱槽に蓄え、昼間にその熱を利用した冷暖房を行います。これにより、昼間の電力負荷を夜間に移行するため、契約電力が小さくなり、基本料金も節約できます。



電気温水器販売台数・電化住宅建設戸数の推移

	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13
電気温水器販売台数（台）	22,668	23,981	25,934	28,606	29,576
電化住宅建設戸数（戸）	4,656	5,871	9,359	11,659	16,087



(注1) 負荷率 = 年間平均需要 ÷ 夏季ピーク需要  
 (数値は、猛暑、冷夏などの影響を除いたもの)  
 (注2) 負荷率が平成13年度に前年から低下したのは、景気後退により負荷率の高い大口需要が減少したため。

## (2) お客さまサービスの充実と多様化

お客さまに、より一層ご満足いただけるサービスの提供に努めました

お客さまにより一層ご満足いただけるように、サービスメニューの開発，ワンストップ・サービス体制の確立などお客さまの利便性の向上に取り組んでいます。

### 契約センターの設置

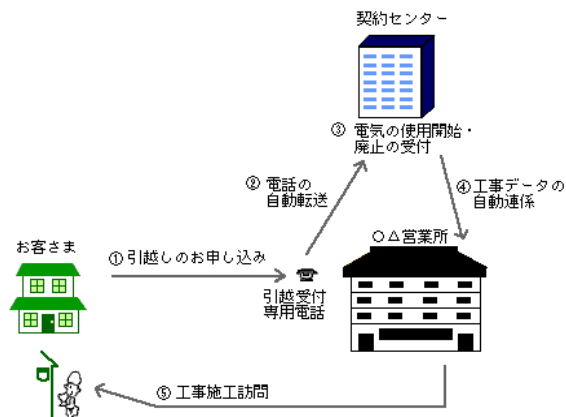
岡山市と広島市の2箇所に「契約センター」を設置し，現在 33 営業所で分散処理している引越受付業務等を集中化することで，当社サービスエリア内であれば，電気の契約廃止と転居先での使用開始の手続きが1度の電話で可能になります。また，引越シーズン(3～4月)においても，受付体制の充実により，電話をかかりやすくします。平成13年度は，岡山県内の全営業所を対象に業務を開始しました。

#### 契約センターへの集中化の状況

	集中化対象営業所	実施時期
岡山契約センター	岡山県内の全営業所(7 営業所)	平成 13 年 5 月
	鳥取・島根県内の全営業所(8 営業所)	平成 14 年 5 月
広島契約センター	広島・山口県内の全営業所(18 営業所)	平成 15 年 5 月

鳥取県・島根県・岡山県内の引越は，次の営業所の引越受付専用電話番号へお電話ください。  
(契約センターへ自動転送されます。)

鳥取営業所 0857-22-3340	倉吉営業所 0858-23-5444	米子営業所 0859-35-5125	隠岐営業所 08512-2-6662
松江営業所 0852-25-7717	出雲営業所 0853-21-6661	浜田営業所 0855-23-3313	益田営業所 0856-22-1123
津山営業所 0868-24-2174	岡山営業所 086-233-9183	倉敷営業所 086-463-9004	高梁営業所 0866-22-3903
小豆島営業所 0879-82-2192	岡山東営業所 086-943-4019	笠岡営業所 0865-63-1814	



## インターネットによるサービスの提供

### 引越受付サービス

当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp>) 上で引越に伴う契約廃止，使用開始の申込ができるようになりました。

～ご利用時間～

- ・引越予定日の2ヶ月前から3日前までの8時～23時

### 電気料金・ご使用量照会，試算などのサービス

一般家庭や商店など低圧契約のお客さま，および工場・事務所ビルなどの高圧契約（ご契約電力500kW未満）のお客さまは，当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp>) 上で電気料金やご使用量の照会，ならびに電気料金の試算などが行うことができるようになりました。

サービスメニュー	サービス内容
電気料金・ご使用量の照会	過去15ヶ月の推移が表やグラフで確認できます。
電気料金の試算	入力された使用量等に応じて電気料金を試算します。
契約変更シミュレーション (選択約款契約への変更)	10ミナト，ファミリータイム，契約電力500kW未満の高圧契約はTOU，高負荷率，ウィークエンドなどへの契約変更シミュレーションができます。
時間割りシミュレーション	10ミナト，ファミリータイムの使用実態の変更シミュレーションができます。

電気料金・ご使用量の照会については，個人情報のため会員登録が必要です。

～ご利用時間～

- ・電気料金・ご使用量の照会・・・8時～21時
- ・その他のサービスメニュー・・・8時～翌日の1時

## 販売戦略検討部会の設置

お客さまとの信頼関係の更なる強化のため、お客さまのご希望にお応えできるサービスの提供や営業体制の確立を目指し、「販売戦略検討部会」を設置し、以下の営業戦略の検討を進めています。

### 商品開発

- ・無停電電源装置の設置促進策などの瞬時電圧低下・停電対策サービスやお客さま受電設備の設置・運用受託をはじめとする、技術・設備面での当社経営資源を活かしたサービスメニューの開発

### エネルギーセンター

- ・コンビナート地域における電気・蒸気などの総合的なユーティリティ供給事業

### グループ営業

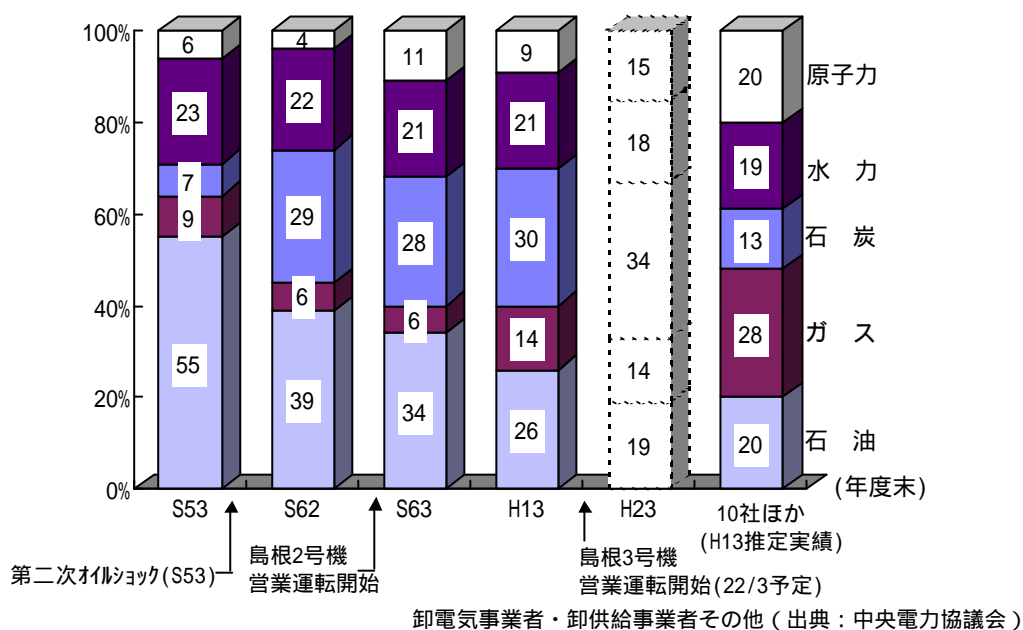
- ・株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス等のグループ各社と連携した総合エネルギー営業の展開

## 2. 安定供給への取り組み

いつでも使える「安心」を

原子力，火力，水力等各電源の特長を活かしながら，将来を見据えた設備計画を立て，これからも確実に電力をお届けしていきます。

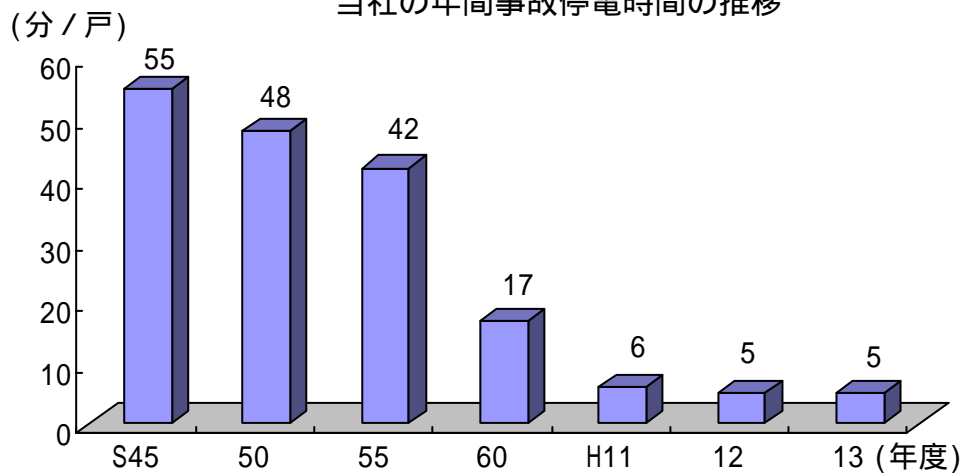
電源構成比率と今後の計画（発電設備量比）



確実に電気をお届けします

停電時間は，近年低レベルで推移しており，今後も安定して質の高い電気をお届けしてまいります。

当社の年間事故停電時間の推移



### 3. 環境・エネルギー問題への対応

当社は、事業活動のさまざまな面で環境と深いかかわりを持っており、電力の生産から販売に至る各段階において、環境にやさしい取り組みを推進しています。

#### (1) 地球環境問題への対応

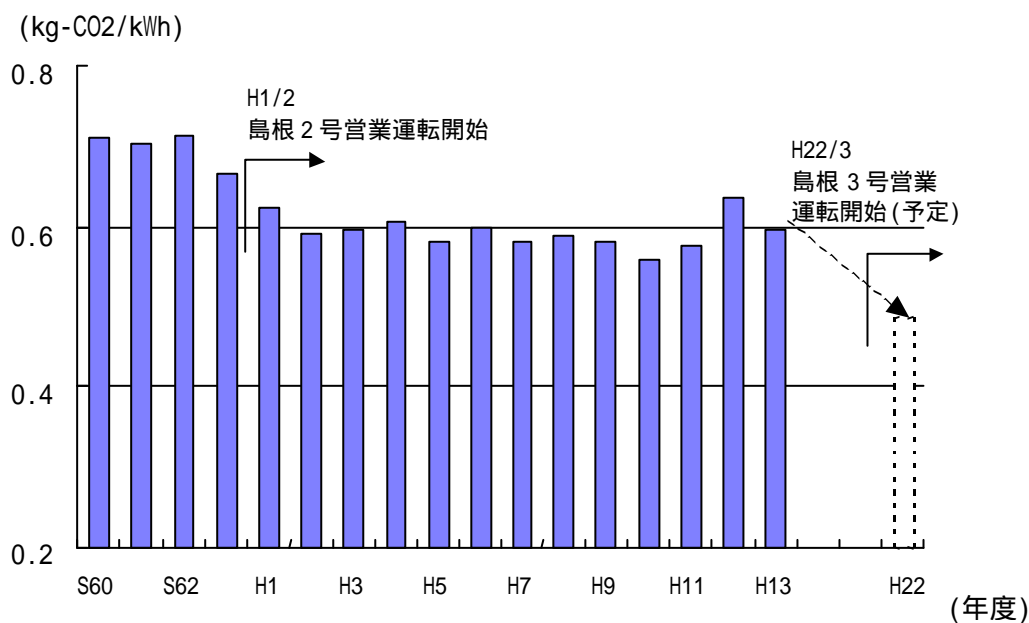
二酸化炭素の排出を抑制します

#### 新規原子力の推進

原子力発電は、供給面での安定性・経済性に優れた電源として、ベース電源の中核となるものです。また、運転中に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しないため、地球温暖化防止にも大きく貢献します。

当社は原子力開発を経営の最重要課題として島根・上関地点の着実な開発に取り組んでいます。平成13年6月には、上関原子力発電所(1, 2号機)建設計画が、国の電源開発基本計画に組み入れられ、建設に向けて大きく前進しました。

当社のCO<sub>2</sub>排出原単位の推移



(注) CO<sub>2</sub>排出原単位 = CO<sub>2</sub>排出量 / 販売電力量  
島根1号機長期作業停止に伴う火力発電量の増加による

## (2) 省エネルギー

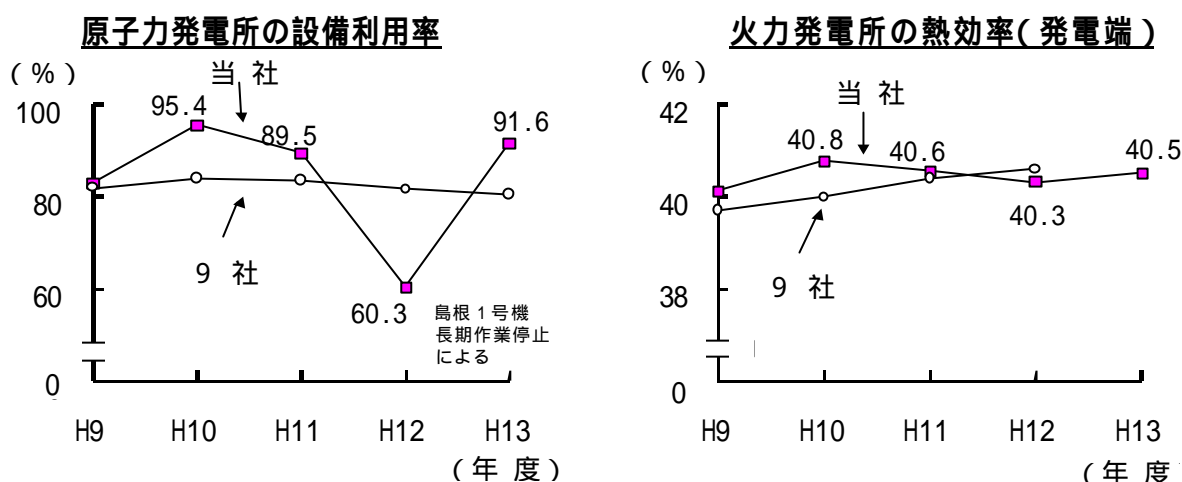
設備運用の効率化に努めました

### 原子力発電所の設備利用率

安全性・信頼性の確保を前提に定期検査作業の効率化を図り、原子力発電所の設備利用率の維持・向上に努めました。

### 火力発電所の熱効率

効率の良い発電所を優先的に運転させるなど熱効率の向上を図り、燃料コストの低減に努めました。



## (3) 省資源・リサイクル

3Rを推進し、廃棄物の削減に取り組んでいます

循環型社会の形成に向けて、事業活動に伴って発生する廃棄物の発生量の抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の3Rを積極的に推進しています。平成13年度には新たに次の取り組みを実施しました。

### 石炭灰の有効利用

当社開発による石炭灰を活用した海砂代替材『<sup>ハイ</sup>Hiビーズ』が、広島県大竹市沖の埋立工事に採用されました。公共工事で本格採用されたのは全国で初めてであり、瀬戸内海の家砂枯渇問題への対応など環境保全にも貢献しています。

### 使用済み<sup>がいし</sup>碇子の有効利用

電気設備で利用された<sup>がいし</sup>碇子を、駐車場や歩道等の舗装材として使用されるインターロッキングブロックの材料などとして利用する技術を開発しました。

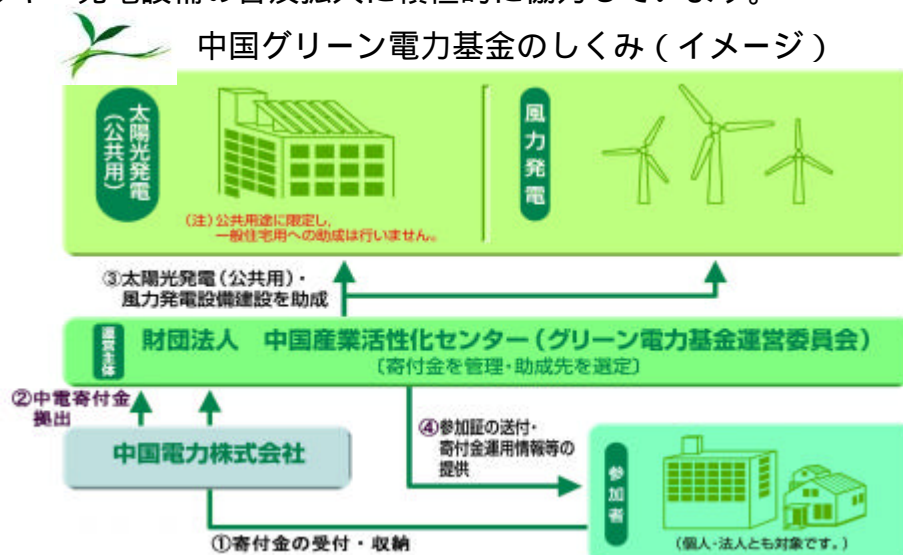
(4) 新エネルギーの普及促進

新エネルギーの購入や開発・支援に積極的に取り組んでいます

中国グリーン電力基金

「中国グリーン電力基金」は、地域の皆さまから参加者を募り、参加者からの寄付金をもとに、太陽光（公共用）・風力発電設備の建設を助成一層の普及促進を図る市民参加型の取り組みです。基金の運営は、財団法人中国産業活性化センターが行っています。

当社では、お申し込みの手続きや寄付金の口座振替など、運営のお手伝いをさせていただくとともに、募集PRや基金への寄付金の拠出により、自然エネルギー発電設備の普及拡大に積極的に協力しています。



平成13年度には1030件（1401口）、ご加入が増加しました。

平成14年3月末現在参加状況

加入件数 1701件      加入口数 2200口（1口500円/月）

第2回助成先 [平成14年5月、助成契約を締結]

- ・太陽光発電設備      8件（助成予定額：1,000万円，助成対象出力 計 200kW）
- ・大規模風力発電設備   1件（助成予定額：517.5万円，助成対象出力 計 4,500kW）

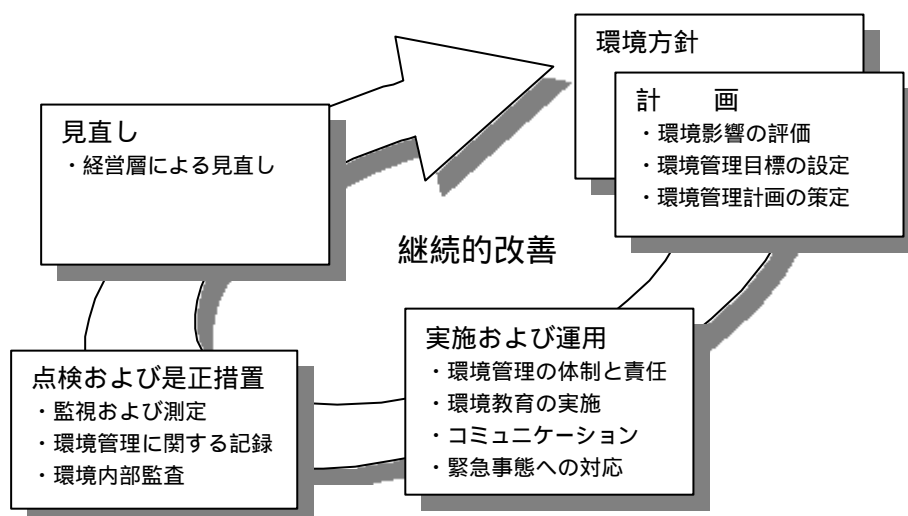
中小規模風力発電設備については、現在募集中です。6月下旬に助成契約を締結予定です。

お問い合わせや参加のお申し込みは、（財）中国産業活性化センター（082-241-9927）および中国電力各営業所にて承っております。また、申込書の取り寄せは、ホームページから行うことができます。  
（中国グリーン電力基金ホームページ <http://www.energia.co.jp/green/>）

## (5) 環境マネジメントシステムの展開

全社大で環境マネジメントシステムを展開し、環境負荷の低減に努めています

多様化し、複雑化する環境問題に積極的に対応していくため、全社大で ISO14001 規格に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、平成13年度に、一斉に運用を開始しました。また、モデル事業所として、一昨年の火力部門に続き、福山営業所、山口営業所、益田電力所、広島電力所が ISO14001 規格を取得しました。



環境マネジメントシステムの管理サイクル

ISO14001 規格とは・・・

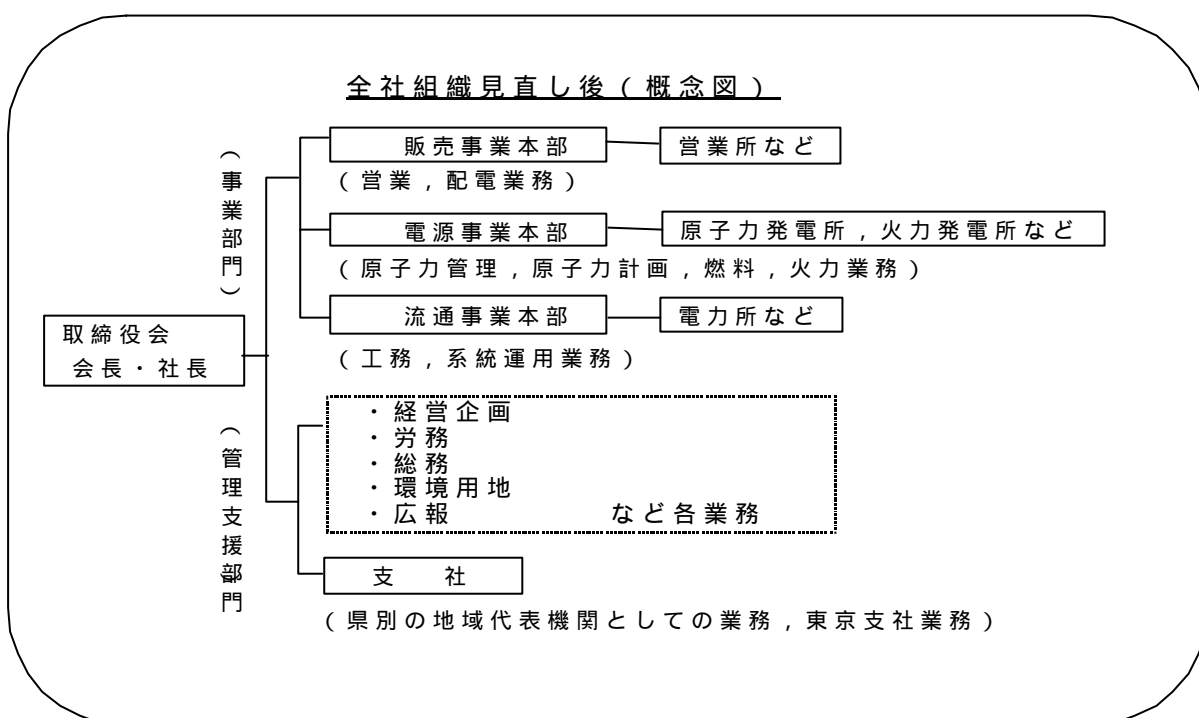
国際標準化機構（ISO）が定める環境管理に関する国際規格 ISO14000 シリーズの一つで、環境マネジメントシステムの要求事項を規定したものです。企業や団体が自主的に環境問題に取り組み、環境への負荷を継続的に改善していくことを目的としています。

## 4．組織見直しと新規事業展開

### (1) 全社組織の見直し

事業本部制により，自律的かつスピーディーな業務運営を目指します

平成13年10月に全社を販売・電源・流通の各事業本部とそれを管理支援する部門に再編成し，各事業本部と部門の目標を定めて役割と責任を明確にしていくこととしました。

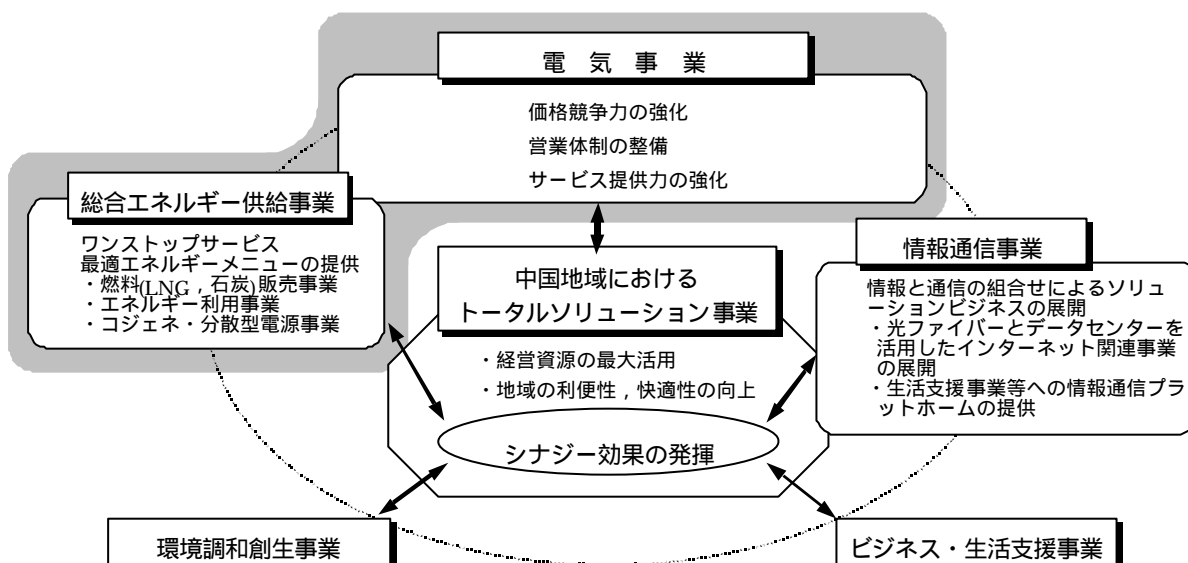


## (2) 新規事業展開

新しい事業領域へ進出し、お客さまの多様なニーズにお応えすることで、グループの収益力を高めています

### 経営環境の変化と当社のスタンス

規制緩和により、新しい事業領域で社会に貢献することが可能になりました。電気事業のなかで蓄積してきた技術、設備および人材を活かし、グループ一体となって中国地域におけるトータルソリューション事業に取り組んでいます。



平成13年度には次の新規事業を立ちあげました。

燃料供給・エネルギー利用事業：

株式会社エスエスアールソリューションアンドサービス(ESS) ...平成13年10月設立

燃料の販売から、エネルギー利用まで一貫したサービスを提供

LNG 基地事業：

水島エルエヌジー株式会社...平成13年12月設立

岡山県水島地区にLNG基地を設置し、LNGの供給を実施予定

インターネット関連事業：

中国情報システムサービス株式会社...平成14年2月事業開始

光ファイバーなど各種定額インターネット接続サービス等を提供

不動産活用事業：

株式会社エスエスアール不動産...平成14年2月設立

当社所有土地に集合住宅、戸建て住宅等を建築して、分譲・賃貸予定

## 業績の動向

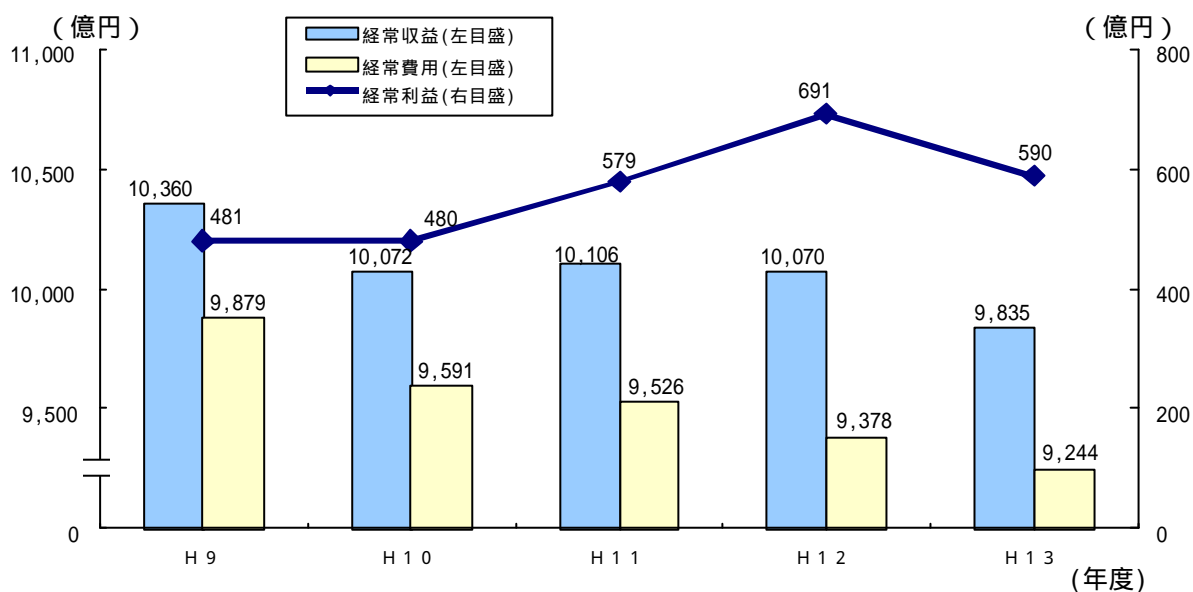
### 1. 収支実績

#### 【平成13年度決算】

経常費用は原子力発電所の高稼働等による原料費の減少や支払利息、減価償却費等の設備関係費の減少などにより、平成12年度に比べ減少しました。一方、経常収益は、平成12年10月に実施した料金引下げの影響や販売電力量の減少等により、減収となりました。

以上の結果、経常利益は590億円となり、前年に比べ100億円の減益となりましたが、ここ5年間では前年に次ぐ利益水準となりました。

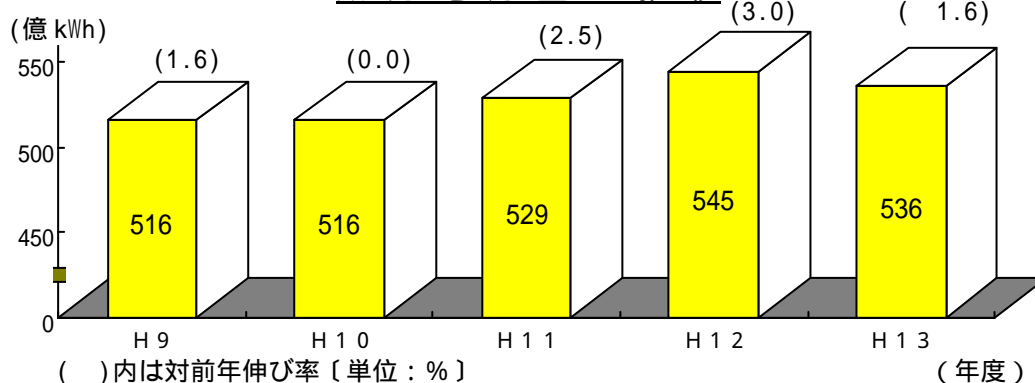
経常収益・経常費用・経常利益の推移



(注1) 経常収益 ... 料金収入 + 電力会社間の電力融通等その他の収益  
 経常費用 ... 人件費, 原料費, 減価償却費, 修繕費, 公租公課, その他の費用の合計  
 経常利益 ... 経常収益 - 経常費用

(注2) 億円未満切り捨て

販売電力量の推移

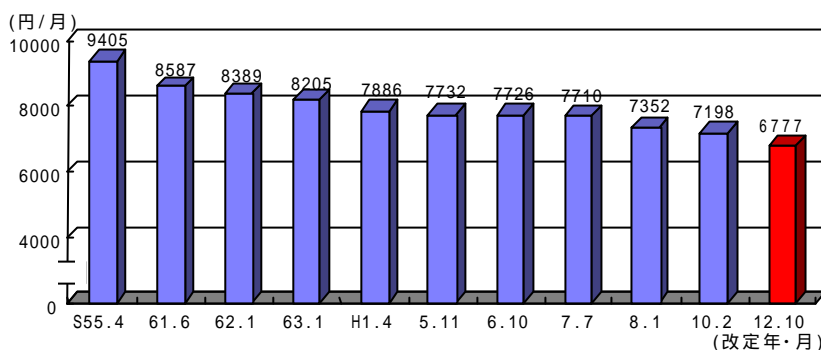


## 2. 電気料金の動向

電気料金の引き下げを検討しています

これまでの効率化努力の成果を反映して、平成12年10月に昭和61年以降10回目の電気料金引き下げを実施しました。それ以降も、効率化の取り組みを加速させており、平成14年度10月実施を目途に料金引き下げを検討しています。

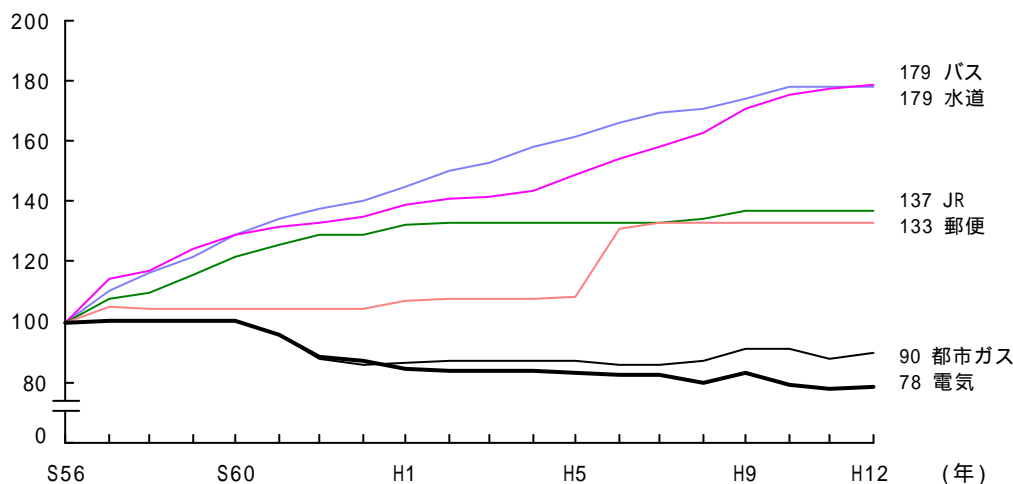
家庭用電気料金引き下げの推移（従量電灯A契約，ご使用量300kWh/月）



注：上記の料金は料金引下げ(改定)時の単価により算定したものであり、燃料費の変動による調整を含んでいません。お客さまが実際にお支払いになる料金は、平成8年7月から一定幅を超える燃料費の変動を電気料金に反映させる燃料費調整制度が導入されたことにより、3ヶ月ごとに調整されます。

(参考) 多くの公共料金が値上がりするなか、電気料金の水準は低下しています。

電気料金と他の公共料金との上昇比較〔昭和56年の料金を基準(100)とした場合〕



出典：総務省統計局 消費者物価指数年報（平成12年）

### 3. 平成14年度の収支見通し

平成14年度の収支は、経営効率化の推進によりコスト削減に努めるものの、本年予定している料金引下げの影響などにより、売上高が前年度を下回る見込みであることなどから、経常利益は580億円程度と平成13年度実績に比べ減益になるものと見込んでいます。

		平成14年度 見通し (A)	平成13年度 実績 (B)	増減 (A - B)
(対前年伸び率)	(%)	( 0.6)	( 1.6)	
販売電力量	億 kWh	539	536	3
(対前年伸び率)	(%)	( 1.3)	( 2.6)	
売上高(電気事業営業収益)	億円	9,600	9,725	125
(対前年伸び率)	(%)	( 1.7)	( 14.6)	
経常利益	億円	580	590	10

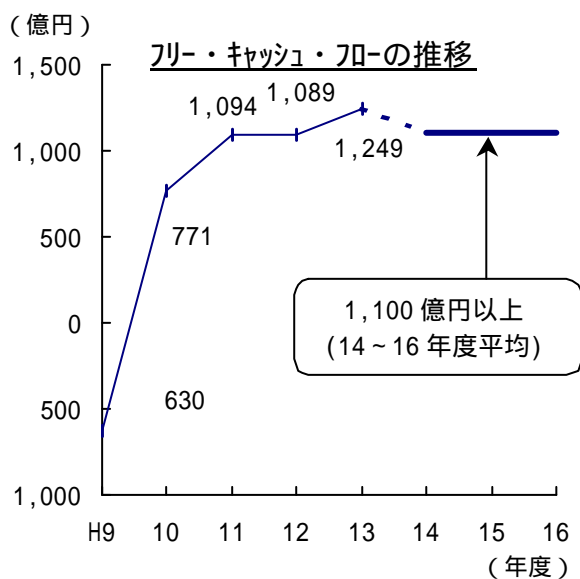
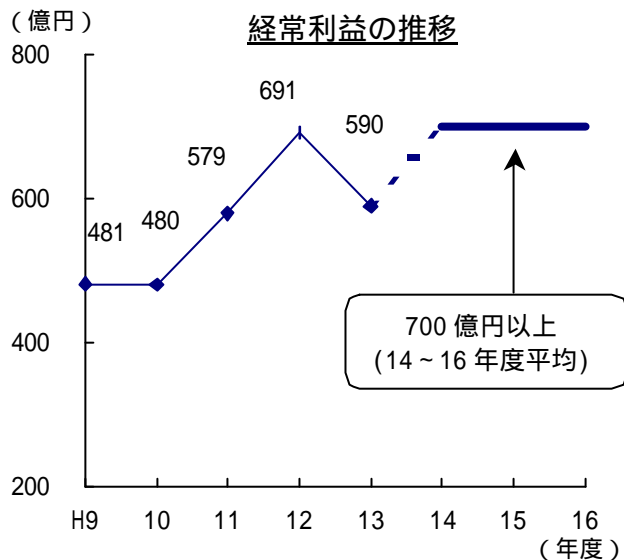
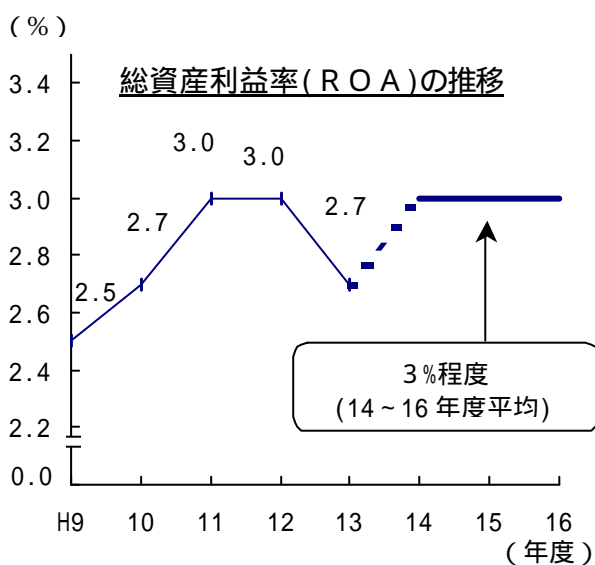
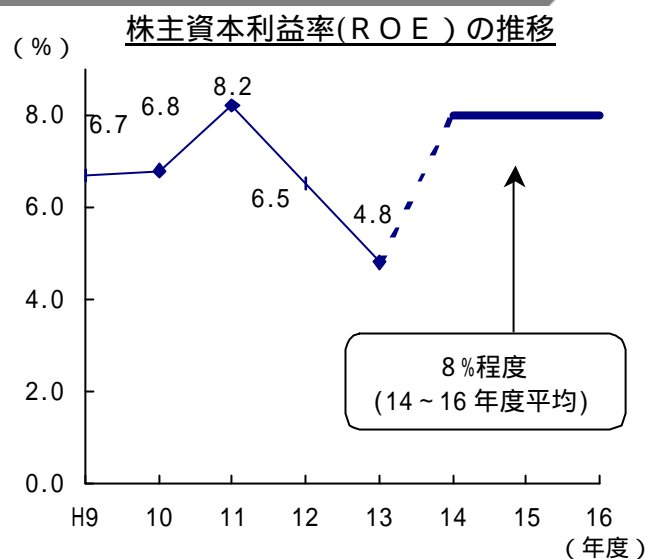
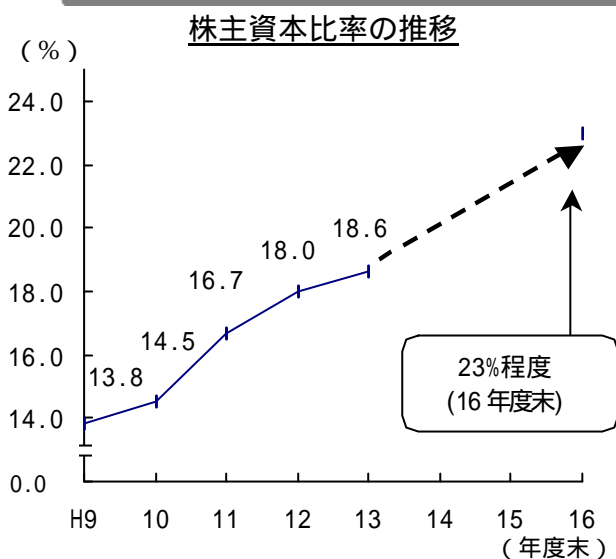
#### 4. 経営目標の見直し

強靱な企業体質の構築に取り組むため、経営目標の見直しを行いました

将来の事業環境の変化に備え、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤強化に向けた取り組みを加速させるため、平成13年11月に経営目標を見直し、平成14～16年度の3年間にかけて達成する具体的数値目標を設定しました。

	経営目標（平成14～16年度平均）	
株主資本比率	23%程度 (平成16年度末)	株主資本比率 = 株主資本 / 総資本  一般に株主資本比率が高いほど、経営の安全性が高いとされています。
ROE (株主資本利益率)	8%程度	ROE (株主資本利益率) = 当期利益 / 株主資本  株主の資本を使ってどれだけの利益をあげたかを見る指標です。
ROA (総資産利益率)	3%程度	ROA (総資産利益率) = 税引後営業利益 / 総資産  企業が資産をどれくらい効率的に活用して利益を生み出しているかを表す指標です。
経常利益	700億円以上	経常利益 = 経常収益 - 経常費用  会社の収益力を表しています。
フリー・キャッシュ・フロー	1,100億円以上	「フリー・キャッシュ・フロー」とは、企業の営業活動により生み出されるお金から、投資などに必要なお金を引いたもので、借入金の返済や新たな事業の展開などに使えるお金を示します。

業績の向上と財務体質の改善を目指して経営目標を設定しています



注：フリー・キャッシュ・フローの定義を見直しました。



参 考 資 料

## 参考資料 1

## データでみる中国電力の概要

設 立	昭和26年5月1日	
資本金	1,855億2,762万円	
発行済株式総数	3億7,105万5,259株	
株主数	168,727名	
契約口数	電灯	4,456千口
	電力	688千口
	合計	5,144千口
販売電力量 (平成13年度)	電灯	16,384百万 kWh
	電力	37,221百万 kWh
	合計	53,605百万 kWh
発電設備	火力 12カ所	8,015千 kW
	水力 93カ所	2,884千 kW
	原子力 1カ所	1,280千 kW
	合計 106カ所	12,179千 kW
送電設備	送電線路巨長 地中	445 km
	架空	7,569 km
変電設備	変電所数	387カ所
	出力	46,502千 kVA
	配電塔	36カ所
	容量	240千 kVA
配電設備	配電線路巨長 地中	2,350 km
	架空	76,961 km
従業員数	11,042人	

(平成14年3月31日現在)

- ( 1)配電塔には、22k V変圧器室を含む
- ( 2)配電線路には低圧線を含むが、配電所管の送電設備は含まない

## 決算関連データ

### 【収支実績】

(単位：億円)

			平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	
経常収益	電気事業営業収益	料金収入						
		電灯料	3,692	3,577	3,600	3,674	3,643	
		電力料	5,994	5,501	5,431	5,505	5,289	
		小計	9,687	9,078	9,032	9,179	8,932	
		地帯間・他社販売電力料ほか	602	922	989	802	792	
		計	10,290	10,001	10,021	9,981	9,725	
	その他	70	71	84	88	110		
	合計	10,360	10,072	10,106	10,070	9,835		
経常費用	人件費	人件費	1,419	1,243	1,303	1,267	1,228	
		燃料費	燃料費	1,102	1,095	1,019	1,162	1,059
			地帯間・他社購入電力料	1,513	1,344	1,349	1,404	1,460
		計	2,615	2,439	2,369	2,567	2,520	
	設備関係費	修繕費	1,145	1,002	1,060	987	997	
		減価償却費	1,892	2,042	2,031	1,909	1,800	
		支払利息	885	834	804	656	502	
		計	3,922	3,880	3,896	3,553	3,300	
		公租公課	669	670	682	678	673	
		その他	1,251	1,357	1,275	1,312	1,522	
	合計	9,879	9,591	9,526	9,378	9,244		
	経常利益	481	480	579	691	590		
	渴水準備金	6	6	-	-	-		
	特別損失	-	15	-	180	218		
	法人税	203	191	216	222	75		
	法人税等調整額	-	-	7	30	52		
	当期利益	271	280	370	320	244		

(注)億円未満切り捨て

### 【収支諸元】

			平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
需要	電灯	億 kWh	147.9	153.6	157.5	162.1	163.8
	電力	億 kWh	368.0	362.5	371.6	221.5	219.3
	小計	億 kWh	515.9	516.1	529.1	383.6	383.1
	特定規模需要	億 kWh	-	-	-	161.4	152.9
	計	億 kWh	515.9	516.1	529.1	545.0	536.0
	出水率	%	110.7	87.3	90.3	82.5	94.9
	原子力利用率	%	82.8	95.4	89.5	60.3	91.6
	為替レート(インターバンク)	円/\$	123	128	112	111	125
	原油CIF価格(全日本)	\$/バレル	18.7	12.8	20.8	28.4	23.8

## 【貸借対照表実績】

(単位：億円)

		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
固定資産	電気事業固定資産	20,419	23,934	22,756	22,711	22,315
	附帯事業固定資産	-	18	16	25	23
	事業外固定資産	57	53	53	51	67
	固定資産仮勘定	6,483	2,229	2,964	2,296	1,528
	核燃料	1,014	935	965	1,040	1,105
	投資等	812	869	1,013	1,127	1,129
	計	28,786	28,039	27,768	27,252	26,170
	流動資産	859	858	932	995	921
	総資産	29,646	28,897	28,700	28,247	27,091
負債	社債	11,588	10,647	10,756	9,321	10,071
	長期借入金	7,287	6,768	6,427	5,879	6,029
	その他	1,520	1,587	1,651	1,859	1,938
	計	20,396	19,003	18,835	17,059	18,039
	流動負債	5,157	5,715	5,058	6,091	4,026
	湯水準備引当金	6	-	-	-	-
	計	25,561	24,719	23,894	23,151	22,065
資本	資本金	1,855	1,855	1,855	1,855	1,855
	法定準備金	571	590	609	630	630
	剰余金	1,657	1,733	2,341	2,397	2,437
	評価差額金	-	-	-	212	103
	計	4,084	4,178	4,806	5,096	5,026
	負債・資本合計	29,646	28,897	28,700	28,247	27,091

(注)億円未満切り捨て



## 中国電力グループ

中国電力グループは、お客さまの生活を様々な分野で総合的に支援します

中国電力グループは、環境との共生を図りながら、お客さまの生活や地域社会の快適性向上を支援していくため、様々なサービスや商品をお届けします。

新規事業:

### 情報通信

中国情報システムサービス(株) [ ☎(082)247-8511, <http://www.cis-inc.co.jp> ]

情報システム・ソフトウェアの開発、アステルPHS事業、データセンター事業、光ファイバー心線貸し事業、インターネット接続事業(MEGA EGG)など

中国通信ネットワーク(株) [ ☎(082)523-8533, <http://www.ctnet.co.jp> ]

光ファイバー専用線サービス、インターネット接続、ISDNサービスなど

### ビジネス・生活支援

(株)中電ビジネスサービス [ ☎(070)5828-5237 ]

経理・資材・人事労務の管理間接業務事務代行など

(株)エネルギー不動産 [ ☎(082)546-3060 ]

マンション・戸建住宅の分譲や賃貸マンションなど

(株)国際規格審査センター

[ ☎(082)545-5701, <http://www.energia.co.jp/energياج/company/group/group01.html> ]

品質マネジメントシステムと環境マネジメントシステムの審査登録および研修セミナー

ハウスプラス中国住宅保証(株)

[ ☎(082)545-5607, <http://www.jutakuhosho.com> ]

住宅性能評価・表示サービス、住宅瑕疵保証サービス

(株)福利厚生倶楽部中国 [ ☎(082)543-5855, <http://www.fukuri-chugoku.co.jp> ]

法人または団体(共済会・社員会・協会・組合等)の福利厚生代行サービス

中国企業(株) [ ☎(082)242-7804, <http://www.chuuki.co.jp> ]

緑化、リース、ビル管理、保険、旅行、不動産賃貸、介護サービス、軽貨物託配、  
絵画レンタルなど

(株)中電アクセス [ ☎(082)541-1110, <http://www.gr.energia.co.jp/access> ]

電気温水器・クッキングヒーター・太陽光発電システム等の住宅設備機器の販売など  
(岡山・広島・山口)

(株)中電ライフ [ ☎(0852)55-6100 ]

電気温水器・クッキングヒーター・太陽光発電システム等の住宅設備機器の販売など  
(鳥取・島根)

産興(株) [ ☎(082)232-4286, <http://www.sankoweb.co.jp> ]

印刷、広告、イベント企画、ホームページ作成、就職情報誌「LEAD」発行など

## 総合エネルギー供給

(株) エネルギア・ソリューション・アンド・サービス

[ ☎(0829)50-2110, <http://www.gr.energia.co.jp/ess> ]

燃料(LNG,石炭)の販売, 電気・熱エネルギーの供給サービス(自家用発電設備の設置、メンテナンス等), LNG利用高効率設備の企画・開発など

水島エルエヌジー(株) [ ☎(086)448-0055 ]

LNG受入基地の建設・運営

水島エルエヌジー販売(株)

LNGの調達・販売

福山共同火力(株) [ ☎(0849)45-3705 ]・水島共同火力(株) [ ☎(086)446-3700 ]  
火力発電事業

## 工事・技術

(株) パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

火力発電技術を中心としたエネルギー利用・環境保全技術の技術研修, 研究受託, ソフト販売およびエンジニアリング事業など

中電工業(株)

[ ☎(082)505-1500, <http://www.energia.co.jp/energياج/company/group/group01.html> ]  
住宅リフォーム工事, 塗料の製造・塗装工事, 不動産賃貸など

中電プラント(株) [ ☎(082)252-4311, <http://www.chuden-plant.co.jp> ]

リサイクル・ゴミ処理施設や自家用発電設備の建設・保守, 光ケーブル敷設・電話基地局建設など

中国計器工業(株) [ ☎(082)237-3101, <http://www.chukeiko.jp> ]

電力量計の製造・販売, 情報ネットワーク構築工事ならびに関連機器販売など

中電環境テクノス(株) [ ☎(082)242-0291, <http://www.gr.energia.co.jp/technos> ]

環境保全装置の運転, 環境調査, 化学分析, 資源リサイクル, 人材派遣, 文書管理など

中電技術コンサルタント(株) [ ☎(082)255-5501, <http://www.cecnet.co.jp> ]

土木や建築等の調査・計画・設計, 地域・都市計画の企画・立案など

(株) 中電工 [ ☎(082)291-7411, <http://www.chudenko.co.jp> ]

電気工事, 情報通信工事, 空調管工事, 水道施設工事など

## 製 造

中国電機製造(株) [ ☎(082)286-3411, <http://www.gr.energia.co.jp/chuki> ]

電気温水器・変圧器・配電盤・制御盤・特高受変電設備等の製造・販売など

(株) 小月製鋼所 [ ☎(0832)82-1111, <http://www.gr.energia.co.jp/ozuki> ]

タービンケーシング等の一般・特殊鋳鋼品や光ケーブル等の架線アーム等の製造・販売など

テンパール工業(株) [ ☎(082)282-1341, <http://www.tempearl.co.jp> ]

配線用遮断器・漏電遮断器・住宅用分電盤・配電盤等の製造・販売など

中国高圧コンクリート工業(株)

[ ☎(082)243-6606, <http://www.zai-keicho.or.jp/plaza/c.c> ]

コンクリート製品製造・販売, 土木・建築工事の施工, 産業廃棄物処理など

イームル工業(株) [ ☎(0824)29-2100, <http://www.eaml.co.jp> ]

マイクロ水車発電機(キャンプ場等の電源)・水中タービン発電機等の製造・販売など



〒730-8701 広島市中区小町4番33号

中国電力株式会社

082-241-0211 (代)

インタ - ネットホームページアドレス.....<http://www.energia.co.jp/>

Eメールによるお問い合わせ.....[plan3@inet.energia.co.jp](mailto:plan3@inet.energia.co.jp)